



# 七月(大) 文月

ふみづき

張宿

旧五月小  
旧六月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	金	きのえさる	七赤	半夏生一九時、四分、社会を明るくする運動、 全国安全週間、国民安全の日、富士山開き、 銀行の日、十万くれ入り、 旧五月小	廿七	先勝	みつ	鬼	神よし	4.29	19.01	1.37	15.26
2日	土	きのと	六白	博多祇園山笠(1日~15日)	廿八	友引	たいら	柳	神よし	4.29	19.01	1.16	15.14
3日	日	ひのえいぬ	五黄	不成就日	廿九	先負	さだん	星	月とく	4.30	19.01	1.16	15.14
4日	月	ひのと	四緑	●朔二〇時〇一分、 米国独立記念日、 旧六月大	朔	赤口	とる	張	大やう	4.30	19.01	3.56	16.58
5日	火	つちのえね	三碧	栄西禅師忌	二	先勝	やぶる	翼	●	4.31	19.00	3.09	16.58
6日	水	つちのとうし	二黒	東京入谷朝顔市(8日迄)	三	友引	あやぶ	軫		4.31	19.00	3.56	16.58
7日	木	かえとら	一白	小暑一時〇三分、七夕、 奈良吉野蛙とび、成田不動尊祇園会	四	先負	あやぶ	角	母倉	4.31	19.00	5.18	18.17
8日	金	かのと	九紫	東京浅草観音ほおずき市、 鴈外忌、不成就日	五	佛滅	なる	亢	神よし	4.32	19.00	5.57	19.24
9日	土	みづのえたう	八白	東京浅草観音四万六千日、天一天上	六	大安	おさん	氏	大やう	4.32	19.00	6.35	19.55
10日	日	みづのとみ	七赤	天しゃ、三隣亡、一粒万倍日	七	赤口	ひらく	房	母倉	4.33	18.59	7.15	20.26
11日	月	きのえうま	六白	●上弦九時五二分、福島伊佐須美田植祭、 大阪生国魂神社夏祭、草市	八	先勝	とづ	心	な	4.33	18.59	8.00	20.58
12日	火	きのとひじ	五黄	●上弦九時五二分、福島伊佐須美田植祭、 大阪生国魂神社夏祭、草市	九	友引	たつ	尾	大やう	4.35	18.58	8.52	21.33
13日	水	ひのえさる	四緑	ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭	十	先負	のぞく	箕	神よし	4.35	18.58	9.14	22.05
14日	木	ひのと	三碧	熊野那智大社扇祭、一粒万倍日	十一	佛滅	みつ	斗	神よし	4.36	18.58	10.10	22.37

月の初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、  
が、不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七日は「七夕」(たなばた)五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では芸芸はもとより、書道、音楽、習字全般などになった。色紙や短冊などに願いを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になつておるところもある。とにかく仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【薮】死者を送つて最初の「お盆」を特に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のほうをわら縄で結び、盆花(盆梗の別称)などをかけ、白張りの提灯

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
15日	金	つちのえいぬ	二黒	ぼん、小倉祇園太鼓(17日迄)、 山形出羽三山花祭、佐原の大祭(17日迄)、 ぼん送り火、やぶ入り、賽日、えんま詣り、 勤労青少年の日、国土交通デー	十二	大安	たいら	牛	ぶく日	4.37	18.57	10.40	20.47
16日	土	つちのと	一白	京都八坂神社祇園祭、初伏、 京都松尾大社御祭、不成就日	十三	赤口	さだん	女	月とく	4.37	18.57	11.18	21.37
17日	日	かえね	九紫	京都八坂神社祇園祭、初伏、 京都松尾大社御祭、不成就日	十四	先勝	とる	虚	きこ	4.38	18.56	11.55	22.21
18日	月	かのと	八白	海の日、 塩釜みなと祭、 茅ヶ崎寒川神社浜降祭	十五	友引	やぶる	危	十し	4.39	18.56	12.32	23.01
19日	火	みづのえとら	七赤	土用一五時〇三分	十六	先負	あやぶ	室	大やう	4.39	18.55	13.09	23.40
20日	水	みづのと	六白	●望七時五七分、山口祇園祭(27日迄)、 広島厳島神社管絃祭	十七	佛滅	なる	壁	母倉	4.40	18.54	13.46	23.40
21日	木	きのえたつ	五黄	大暑一八時三〇分、敦賀賀比神官総参祭、 熊谷うちわ祭	十八	大安	おさん	奎	大やう	4.41	18.53	14.11	23.40
22日	金	きのと	四緑	相馬野馬追大祭(25日迄)、宇和島和霊祭、 三隣亡、一粒万倍日	十九	赤口	ひらく	婁	大やう	4.41	18.53	14.44	23.40
23日	土	ひのえうま	三碧	相馬野馬追大祭(25日迄)、宇和島和霊祭、 三隣亡、一粒万倍日	廿	先勝	とづ	胃	●	4.42	18.52	15.05	23.40
24日	日	ひのとひじ	二黒	地蔵ぼん、河童忌、 大田原大田山地蔵尊夏大祭	廿一	友引	たつ	昂	くそ日	4.43	18.52	15.48	23.40
25日	月	つちのえさる	一白	大阪天満天神祭、徳島天神祭、不成就日	廿二	先負	のぞく	畢	神よし	4.44	18.50	16.29	23.40
26日	火	つちのとうし	九紫	一粒万倍日	廿三	佛滅	みつ	觜	百事よし	4.44	18.50	17.12	23.40
27日	水	かえいぬ	八白	●下弦八時〇〇分、中伏、 神奈川大山阿夫利神社夏季大祭	廿四	大安	たいら	参	大やう	4.45	18.50	17.55	23.40
28日	木	かのと	七赤	宇佐神官夏越大祭(31日迄)、八せん始め	廿五	赤口	さだん	井	大やう	4.46	18.49	18.38	23.40
29日	金	みづのえね	六白	土用の丑、和歌山粉河祭(31日迄)、 大阪住吉祭(30月1日迄)	廿六	先勝	とる	鬼	天おん	4.47	18.48	19.21	23.40
30日	土	みづのとうし	五黄	芦ノ湖水祭、堺大魚夜市、 京都愛宕千日詣り	廿七	友引	やぶる	柳	十し	4.47	18.47	20.04	23.40
31日	日	きのえとら	四緑		廿八	先負	あやぶ	星	母倉	4.48	18.46	20.47	23.40

をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、  
大のきな行事になつてい  
る。地方により多少記り方  
は違うが、精霊棚を作りお  
牌を安置し、野菜、果物、  
ソメメン、団子などを供え  
るのが普通である。仏壇に  
置ることもあり、きゆうり  
やなすで、牛、馬の形を作  
つて供えるところもある。  
十三日の夕刻、迎え火とい  
って麻酔(おがら)をた  
いて仏を迎え、十五日に僧  
侶に読経してもらい、十六  
日に送り火をたいて冥界  
(めいかい)に送る。お盆の  
供え物は川や海に流すのが  
普通で、小さな舟を作り、  
それに灯籠を載せて流す風  
習も各地に残っている。  
【薮】中元の習慣は中国に  
発する。正月十五日を元元、  
七月十五日を中元、十月十  
五日を下元、合わせて三元  
とし、金品をささげて贖罪  
(しよくざい)をする日とい  
い伝えられており、これが  
わが国で形が変わり、縁故  
者や目上、恩人に贈り物を  
した、感謝の心を表すものと  
なつたのである。